

令和 2 年 7 月 10 日現在

機関番号：12201

研究種目：基盤研究(B)（海外学術調査）

研究期間：2015～2019

課題番号：15H05161

研究課題名（和文）個の自立と新たな凝集力の中で変貌する現代華北農村社会システムに関する史的研究

研究課題名（英文）Changing Social Systems in Rural China: Historical Studies in Shanxi Province

研究代表者

内山 雅生（Uchiyama, Masao）

宇都宮大学・国際学部・教授

研究者番号：30151905

交付決定額（研究期間全体）：（直接経費） 12,600,000円

研究成果の概要（和文）：本研究は、山西省を中心とする内陸部農村を事例研究として取り上げ、現代化する中国社会の中で、農民が個人としての自立と、集団要員としての共同性の意狭間の中で、いかなる実態を伴って生活していたか、具体的に検討し、現代中国農村社会の社会システムの変遷を歴史的検討し、従来の中国農村研究に新たな可能性を提示した。

研究成果の学術的意義や社会的意義

本研究は、従来の中国農村の多くが、中国共産党の公表した公式記録に限定されていたのに対して、個人記録等も加えた文書記録と、農民へのインタビューを総合的に検討したので、大きな学術的意義を持つことができた。また中国の地域研究を「村落档案」にみられる農民の実態から研究したことも、新たな学術意義を持った。

研究成果の概要（英文）：This study aims at investigating the social changes which Chinese villages have gone through in the modern era. Due to the rapid modernisation of the country in the last few decades, Chinese villagers have become more socially independent from one another. However, despite this, they still retain a particular sense of community spirit that has been fostered through their shared history.

Focusing on several villages situated in the Chinese interior, particularly in Shanxi province, this project tries to analyse the circumstances in which Chinese peasants spend their daily lives.

研究分野：東洋史

キーワード：農村共同体 共同性 華北農村 山西省 農村の都市化

1、研究開始当初の背景

近年 GDP 第 2 位に躍り出た中国では、周知のように都市と農村の格差が拡大し続けている。そこで習近平政権は農村の「都市化」により事態の解決を図ろうとしてきた。しかし農村部では、人民公社の解体により、農民自身の個別化や農家の戸別化が進行し、農民の日常生活での「都市化」が出現している。その結果、新たな環境問題の発生や新興宗教の勃興など当初の予想を超えた混乱が生じている。

農民戸籍と都市戸籍をキーワードとして、現在の中国社会を「都市戸籍を持つ四億人が農村戸籍の九億人を搾取する『戸籍アパルトヘイト』のもとで達成した経済成長」の社会と断言するにはいささか短兵急な感も残るが、川島博之『戸籍アパルトヘイト 国家・中国の崩壊』（講談社＋新書、2017年）が語るように、「九億人もの農民がいることと中国の歴史を重ね合わせてみると、経済や軍事について、これまで見えなかったことが見えて」くるのも事実である。そのような状況の下で、現代中国の農民たちは、村内の柔軟な人的結合を活用して、経済活動のリーダー達を中心に、伝統的な慣習と「近代的な合理性」を混在化した「新たな凝集力」により、村境を超えた労働力・商品・資金・情報の流動性の中で活路を見出している。

2、研究の目的

かような実情を分析してきた本研究では、中国農村社会に内在化する凝集力を、一見対立するかのように見える農民間の「個の自立」との相互関係から、中華民国期から現代までのタイムスパンの下での歴史的な展開過程を明らかにし、現在表出し始めた新たな近現代中国農村社会システムの実態を明らかにしてきた。

3、研究の方法

従来中国農村社会の結合力や凝集力に関しては、既に 1940 年代に、満鉄調査などをもとに、平野義太郎氏と戒能通孝氏との間に「共同体」論争として展開されたことは周知の事実である。さらに戦後に至ると、日本の村落との比較から、中国村落の共同体的凝集力の弱さが指摘され、そのことが中国社会の遅れと捉えられてきた。

また、毛沢東時代の 30 年間に於いて、共産党による上からの強権的統治により、人民公社を中心として、農村社会に凝集力が植えつけられた。しかし鄧小平政権の改革開放経済体制下で、一見するとかつての「バラバラな社会」が再現されたかのように論じられてきた。

しかし、現在の北京の研究所や大学図書館には、日中戦争中に日本が行った華北農村調査で、日本では見られない報告書類が数多く所蔵されている。そして、満鉄や興亜院の他にも、華北総合調査研究所・華北交通株式会社・北支那開発株式会社・華北合作事業総会・東亜研究所などが水準の高い農村調査を行ったが、体系的に整理されていないため、いまだ十分には利用されていないのが実情である。

一方、戦時中に日本が調査した中国農村を研究対象としつつ、中国の研究者の全面的な支援と協力を得て行われた本格的な日中共同の農村調査研究は、我々の研究を含めてもまさに開始されたばかりである。

本研究では、これら未使用の資料を分析し、かつかつての調査村での再調査の結果を組み合わせてみた。すると中華民国期から現代まで、戦中期の「共同体の存否」に

関する論争レベルに止まらず、農民が「個の自立」を図りながらも、日本や欧米社会とは違った特異な「結合力」による「新たな凝集力」を保持していることが読みとれた。

4、研究成果

(1) 第一の研究成果は、中国の農村研究者との共同研究のスタイルを確立した事である。

特に「村落档案」と呼ばれる一次資料を共同で発見しかつ分析していく中で、現地農村でのインタビュー記録と照らし合わせながら、農村社会の基層部まで垣間見ることができるようになった。換言すれば、官製の限られた文書資料に頼っていた時代の研究成果より、農村社会の実態把握という点で大きく進歩したと確信している。

(2) 第二の成果は、中国農村における凝集力の捉え直しが確立できたことである。

例えば主要調査村の道備村を中心に山西省の農村から、近現代中国農村における凝集力とは何かを捉え直してみると次のようなことが指摘できる。

本研究では、旧来からの農村社会における「伝統」対「革新」という二律背反的な見方を超克し、民国期の伝統的な農村結合、毛沢東時代の上から強制された「集団の凝集力」、さらに鄧小平時代の個別分散化した農村社会における人的結合を、「共同性」の存否にとどまらず、「新たな凝集力」として捉え直し、具体的にその歴史的過程を明らかにすることができた。

(3) 第三の研究成果は、近現代華北農村社会の長期的変動と連続性の関係を明らかにしたことである。つまり華北農村も 1945 年の抗日戦争勝利・1949 年の中華人民共和国成立・1979 年の改革開放路線開始の前後に大転換したと見なされてきたが、むしろその連続性を再検証し、華北農村社会の長期的な変化の方向性を明らかにするが重要であった。

本研究では、人民公社時代の 1953～78 年を社会主義建設の時代として一面的に理解するのではなく、むしろ 1979 年以降の資本主義的経済発展の基礎が蓄積された時期であったことを具体的に明らかにすることができた。

(4) 第四の研究成果は、新たな近現代華北農村社会史像を提示することができたことである。

本研究による文書分析研究や農村調査を通じて、中国農村社会の特質は、村落内における人的結合の多様性と柔軟性の高さ、さらに村境を超えた労働力・商品・資金・情報の流動性の高さによって明らかになるということを提示できた。本研究では、このような考えのもとに、新たに収集した文献資料を網羅的に利用して、農村社会の実態と変動を明らかにし、農村構造の歴史的展開過程を究明する作業を進めることができた。

その結果、「村落档案」と呼ばれる実証史学の根幹である文献資料を、さらに発掘・収集することによって、近現代華北農村社会史研究に新たな資料的根拠を提供し、実証史学研究の発展に寄与することができる。

(5) また、農業経済から手工業・商業・運輸業などを含む農村経済へ、また、狭義の社会経済から政治・教育・家族・社会環境などを含む広義の社会変動を分析対象として拡大することにより、農村社会史の枠組みも拡大することができた。

さらに、文献資料の分析に加え、農村聞き取り調査を組み込み、また、社会・経済・政治・教育・宗教・家族・社会環境(人的結合・人的移動)などの視点から複合的な分析を行うことが可能となった。

以上が本研究の研究成果である。従来の総合的研究は、ややもすると各分野からの分析

の集合体という性格が強かったのに対して、本研究では、歴史的分析を中軸に据え、農村の自然環境・地理的条件が農業・農村経済を規定し、また、農村経済構造が農村の社会環境(人的結合のあり方や宗教・教育)を規定し、さらに、社会環境が農村の基層幹部のあり方(政治)を規定していることを、社会学および地理学分野の協力を得て、歴史的に捉えることができた。

多くの研究成果を上げた戦前戦中期の近現代華北農村社会研究は、主に満鉄の調査資料等に依拠することが多かったために、治安の関係から、河北省及び山東省の鉄道沿線部の農村に限定されていた。だが前述したように、新たな文献資料の分析と農村における聞き取り調査を融合させる本研究によって、山西省の山間部農村を含めて、近現代農村社会の「新たな凝集力」に関する事例研究がより一層多く蓄積され、実証研究の水準を向上させることに繋がった。

5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕 計55件（うち査読付論文 30件 / うち国際共著 0件 / うちオープンアクセス 0件）

1. 著者名 祁建民	4. 巻 8号
2. 論文標題 毛沢東的階級区分戦略与中国伝統社会結構	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 東亜漢学研究	6. 最初と最後の頁 100-109
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 祁建民	4. 巻 1巻
2. 論文標題 改革開放期の伝統水利関係とその変容	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 内山雅生編『中国農村社会の歴史的変容』	6. 最初と最後の頁 123 - 145
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 田中比呂志	4. 巻 1巻
2. 論文標題 地域の権力と宗教	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 内山雅生編『中国農村社会の歴史的変容』	6. 最初と最後の頁 147 - 165
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 弁納オー	4. 巻 1巻
2. 論文標題 農村経済の発展と脱農家・零細農化の進行	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 内山雅生編『中国農村社会の歴史的変容』	6. 最初と最後の頁 3 - 20
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 吉田建一郎	4. 巻 1巻
2. 論文標題 華北の寒羊・寿陽羊と日本	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 内山雅生編『中国農村社会の歴史の変容』	6. 最初と最後の頁 23 - 43
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 福土由紀	4. 巻 1巻
2. 論文標題 農村における結核と労働移動	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 内山雅生編『中国農村社会の歴史の変容』	6. 最初と最後の頁 45 - 60
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 山本真	4. 巻 1巻
2. 論文標題 地域防衛と結衆の原理	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 内山雅生編『中国農村社会の歴史の変容』	6. 最初と最後の頁 229-247
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 小島泰雄	4. 巻 1巻
2. 論文標題 大規模村落の集落と農地の空間構造	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 内山雅生編『中国農村社会の歴史の変容』	6. 最初と最後の頁 189 - 197
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 田中比呂志	4. 巻 69
2. 論文標題 華北農村訪問調査(7)付雲南農村調査	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 東京学芸大学紀要(人文社会科学)	6. 最初と最後の頁 61-72
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 祁建民	4. 巻 7
2. 論文標題 「人民社会主義」論争述評	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 東亜漢学研究	6. 最初と最後の頁 141-151
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 祁建民	4. 巻 17
2. 論文標題 中国内陸農村訪問調査報告(8)	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 長崎県立大学国際社会学部研究紀要	6. 最初と最後の頁 79-86
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 弁納オー	4. 巻 39号
2. 論文標題 消えゆく華東地域の農村――江蘇省無錫県の2ヶ村を例として	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 近代中国研究彙報	6. 最初と最後の頁 1-22
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 弁納オー	4. 巻 296号
2. 論文標題 南京国民政府時期中国における合作社と農村社会の特質--江蘇省丹陽県・無錫県を例として	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 史学研究	6. 最初と最後の頁 1-24
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 弁納オー	4. 巻 49号
2. 論文標題 日中全面戦争勃発前後における山東省農村経済の変動 惠民県孫家荘を例として	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 日本海域研究	6. 最初と最後の頁 49-65
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 弁納オー	4. 巻 49号
2. 論文標題 華北農村訪問調査報告(12)	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 日本海域研究	6. 最初と最後の頁 89-98
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 山本真	4. 巻 1
2. 論文標題 1940年代四川省の民意機関和秘密結社	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 四川大学歴史文化学院編『第一届中国社会史論壇会議論文集』	6. 最初と最後の頁 15-30
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 山本真	4. 巻 1
2. 論文標題 キリスト教の革新運動と教会の政治化	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 笹川裕史編『戦時秩序に巣喰う喰声 日中戦争・国共内戦・朝鮮戦争と中国社会』	6. 最初と最後の頁 307-342
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 古泉達矢	4. 巻 69集
2. 論文標題 華北農村訪問調査報告(7)	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 東京学芸大学人文社会学系	6. 最初と最後の頁 61-72
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 古泉達矢	4. 巻 49号
2. 論文標題 台湾における日系企業等への再訪記録	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 日本海域研究	6. 最初と最後の頁 77-87
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 阿古智子	4. 巻 605号
2. 論文標題 習近平政権下の国家安全戦略――突発公共事件とインターネット世論への対応を中心に	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 東亜	6. 最初と最後の頁 34-43
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 阿古智子	4. 巻 40号
2. 論文標題 アウトロー空間としての城中村	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 現代中国研究	6. 最初と最後の頁 40-54
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 福土由紀	4. 巻 1
2. 論文標題 上海1910年；暴れる民衆、逃げる女性	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 永島剛他編『衛生と近代：ベスト流行にみる東アジアの統治・医療・社会』	6. 最初と最後の頁 127-158
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 田中比呂志	4. 巻 68
2. 論文標題 村の歴史と個 ある無名の農民の半生(2)	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 東京学芸大学紀要(人文社会科学)	6. 最初と最後の頁 23-35
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 祁建民	4. 巻 6
2. 論文標題 階級觀念在中国農村の形成(1947-1976)	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 東亜漢学研究	6. 最初と最後の頁 264-273
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 祁建民	4. 巻 1
2. 論文標題 従「社会主義五百年」論述看中国政治動向	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 研究紀要	6. 最初と最後の頁 67-76
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 祁建民	4. 巻 1
2. 論文標題 中国内陸農村訪問調査報告(7)	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 研究紀要	6. 最初と最後の頁 55-66
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 弁納オー	4. 巻 39
2. 論文標題 消えゆく華東農村--江蘇省無錫県の2ヶ村を例として	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 東洋文庫近代中国研究班編『近代中国研究彙報』	6. 最初と最後の頁 1-22
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 山本真	4. 巻 1
2. 論文標題 日中戦争前期、サラワク華僑の救国献金運動と祖国の表象	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 関根謙編『近代中国その表象と現実 女性・戦争・民俗』	6. 最初と最後の頁 156-183
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 山本真	4. 巻 1
2. 論文標題 郷里空間の統治と暴力――危機下の農村における共同性の再編と地域自治政権	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 小嶋華津子・島田美和編『中国の公共性と国家権力：その歴史と現在』	6. 最初と最後の頁 105-130
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 古泉達矢	4. 巻 48
2. 論文標題 台湾における日系企業等への再訪記録 2016年3月	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 日本海域研究	6. 最初と最後の頁 71-79
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 小島泰雄	4. 巻 2016- 1
2. 論文標題 中国の一人っ子政策の転換	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 地理・地図資料	6. 最初と最後の頁 7-10
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 小島泰雄	4. 巻 14
2. 論文標題 延吉農村における朝鮮族の移動性と農地の流動化	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 地域と環境	6. 最初と最後の頁 25-35
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 首藤明和	4. 巻 3
2. 論文標題 新たな<学>としての「多文化社会学」に向けて	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 多文化社会学研究	6. 最初と最後の頁 87-91
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 首藤明和	4. 巻 3
2. 論文標題 モダニティのグローバリゼーション論に向けて 社会学の存在論的、認識論的前提に対する批判的検討から	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 多文化社会学	6. 最初と最後の頁 93-104
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 吉田建一郎	4. 巻 1
2. 論文標題 20世紀中葉における中国東北地域における豚の品種改良について	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 村上衛編『近現代中国における社会経済制度の再編』	6. 最初と最後の頁 83-99
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 阿古智子	4. 巻 1
2. 論文標題 中国と日本—国境を越えた公共圏の形成を展望する	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 今野純編『講座東アジア共同体論 調和的秩序形成の課題』	6. 最初と最後の頁 145-173
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 福土由紀	4. 巻 513-9
2. 論文標題 1950年代中国農村における医療保険システムの導入:雲南省大理専区を事例として	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 人文学報	6. 最初と最後の頁 30-56
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 田中比呂志	4. 巻 67
2. 論文標題 村の歴史と個 ある無名の農民の半生(1)	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 東京学芸大学紀要(人文社会科学)	6. 最初と最後の頁 69-79
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 祁建民	4. 巻 5
2. 論文標題 中国關於『普世價值』争論的核心問題及其後果	5. 発行年 2015年
3. 雑誌名 東亜漢学研究	6. 最初と最後の頁 83-93
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 祁建民	4. 巻 37巻3期
2. 論文標題 山西四社五村水利秩序与礼治秩序	5. 発行年 2015年
3. 雑誌名 広西民族大学学報	6. 最初と最後の頁 15-21
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 祁建民	4. 巻 16
2. 論文標題 思想対抗の時代: 1980年代的中国政治	5. 発行年 2015年
3. 雑誌名 長崎県立大学国際情報学部研究紀要	6. 最初と最後の頁 97-104
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 祁建民	4. 巻 16
2. 論文標題 中国内陸農村訪問調査報告 (6)	5. 発行年 2015年
3. 雑誌名 長崎県立大学国際情報学部研究紀要	6. 最初と最後の頁 105-116
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 弁納オー	4. 巻 36巻1号
2. 論文標題 華東農村訪問調査報告 (10)	5. 発行年 2015年
3. 雑誌名 金沢大学経済論集	6. 最初と最後の頁 171-192
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 弁納オー	4. 巻 36巻1号
2. 論文標題 華東農村訪問調査報告 (11)	5. 発行年 2015年
3. 雑誌名 金沢大学経済論集	6. 最初と最後の頁 221-245
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 弁納オー	4. 巻 36巻2号
2. 論文標題 華北農村訪問調査報告(11)	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 金沢大学経済論集	6. 最初と最後の頁 161-185
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 弁納オー	4. 巻 36巻2号
2. 論文標題 中華民国前期冀東地区豊潤県3ヵ村における農村経済	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 金沢大学経済論集	6. 最初と最後の頁 45-74
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 首藤明和	4. 巻 23
2. 論文標題 内モンゴルの環境をめぐる問題と現状打開に向けた試み	5. 発行年 2015年
3. 雑誌名 日中社会学研究	6. 最初と最後の頁 5-20
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 首藤明和	4. 巻 23
2. 論文標題 チャイニーズネスを構成する「言説の資源」「地域」「歴史の逆説性」	5. 発行年 2015年
3. 雑誌名 日中社会学研究	6. 最初と最後の頁 36-44
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 山本真	4. 巻 84巻1-4合併号
2. 論文標題 日中戦争時期、福建省における戦時総動員と地域社会	5. 発行年 2015年
3. 雑誌名 慶応大学三田史学会編『史学』	6. 最初と最後の頁 351- 389
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 吉田建一郎	4. 巻 85巻1-3号
2. 論文標題 興亜院華北連絡部『北支那綿羊調査報告』について	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 慶応大学三田史学会編『史学』	6. 最初と最後の頁 245-259
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 李海燕	4. 巻 48
2. 論文標題 中国黒竜江省M市朝鮮族へのインタビュー記録	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 東京理科大学紀要 (教養編)	6. 最初と最後の頁 213-236
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 福土由紀	4. 巻 19
2. 論文標題 中国における予防接種の歴史手展開：種痘政策を中心に	5. 発行年 2015年
3. 雑誌名 海外社会保障研究	6. 最初と最後の頁 33-45
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 KOIZUMI Tatsuya	4. 巻 1
2. 論文標題 International Dimensions to the Development of the Opium Retail System in Hong Kong,1845-1943	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 History in British History :Proceedings of the Seventh Anglo-Japanese Conference of Historians,held at Trinity Hall	6. 最初と最後の頁 271-284
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 古泉達矢	4. 巻 1
2. 論文標題 歴史 (近代の香港) -自由貿易港の生成と発展	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 吉川雅之・倉田徹編 『香港を知るための60章』	6. 最初と最後の頁 23-26
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 古泉達矢	4. 巻 36巻1号
2. 論文標題 台湾における日系企業等への訪問記録	5. 発行年 2015年
3. 雑誌名 金沢大学経済論集	6. 最初と最後の頁 193-220
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

〔学会発表〕 計22件 (うち招待講演 18件 / うち国際学会 0件)

1. 発表者名 福土由紀
2. 発表標題 近代華北農村における結核と人々の暮らし
3. 学会等名 Asian Society for Social History of Medicine (招待講演)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 古泉達矢
2. 発表標題 1920 - 21年の華北における干旱魃について
3. 学会等名 華東師範大学金沢大学合同シンポジウム（招待講演）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 山本真
2. 発表標題 1940年代四川省の地方民意機関と秘密結社
3. 学会等名 第一届中国社会史論壇（招待講演）
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 古泉達矢
2. 発表標題 香港返還20年：近現代史からの考察
3. 学会等名 シンポジウム中国・ヨーロッパ・日本；近代世界の形成とネーション（招待講演）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 古泉達矢
2. 発表標題 イギリスによる第一次大戦期の華人労働者送出について
3. 学会等名 第2回金沢大学環日本海域環境センター連携部門国際テーマシンポジウム（招待講演）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 古泉達矢
2. 発表標題 第一次世界大戦期の華工創出と威海衛統治問題
3. 学会等名 第22回東アジア近代史学会研究大会（招待講演）
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 福土由紀
2. 発表標題 近代華北農村における暮らしと健康；結核問題をてがかりに
3. 学会等名 大学共同利用機関法人人間文化機構広領域連携型プロジェクト「アジアにおけるエコヘルス研究の新展開」全体会議
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 阿古智子
2. 発表標題 勃興する民
3. 学会等名 JETROアジア経済研究所中国研究会（招待講演）
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 吉田建一郎
2. 発表標題 中日戦争時期日本対寒羊和寿陽羊的調査活動
3. 学会等名 近代中国北方経済与転型學術研討会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 内山雅生
2. 発表標題 從戰前戰中期的調查資料看日本人的華北農村研究
3. 学会等名 華中師範大學農村研究學院（招待講演）
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 弁納才一
2. 発表標題 近現代中国農村經濟發展的新模式
3. 学会等名 華中師範大學農村研究學院（招待講演）
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 田中比呂志
2. 発表標題 村の権力と宗教
3. 学会等名 シンポジウム近現代中国農村社会の特質と変容（招待講演）
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 K0JIMA Yasuo
2. 発表標題 Economic Development and Cultural Change in rural Guangzhou
3. 学会等名 The 33rd Internatinal Geographic congress
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 首藤明和
2. 発表標題 『越境』に対する社会学の射程と限界 存在論、認識論、方法論から問うために
3. 学会等名 中国社会学会中日社会学專業委員会（招待講演）
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 阿古智子
2. 発表標題 アウトロー空間としての“城中村”
3. 学会等名 中国現代史研究会2017年度研究集会（招待講演）
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 福土由紀
2. 発表標題 近現代中国における結核の流行とその社会経済的背景に関する初歩的研究
3. 学会等名 現代史研究会シンポジウム（招待講演）
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 田中比呂志
2. 発表標題 近世日本社会と中国社会
3. 学会等名 華中師範大学農村研究学院（招待講演）
4. 発表年 2015年

1. 発表者名 SHUTO Toshikazu
2. 発表標題 The Cross-Border Mobility Yielding the Emergent Propety
3. 学会等名 Central South University (招待講演)
4. 発表年 2015年

1. 発表者名 首藤明和
2. 発表標題 Chineseness的構成要素:言說的資源、地域和逆境の歴史之力
3. 学会等名 中国社会学日中社会学会専門委員会 (招待講演)
4. 発表年 2015年

1. 発表者名 首藤明和
2. 発表標題 内モンゴルの環境をめぐる問題と現状打開に向けた試み
3. 学会等名 政治社会学学会第6回研究大会
4. 発表年 2015年

1. 発表者名 福土由紀
2. 発表標題 近現代中国における感染症の歴史研究
3. 学会等名 海外学術調査フォーラム地域分科会 (東アジア) (招待講演)
4. 発表年 2015年

1. 発表者名 FUKUSHI Yuki
2. 発表標題 Schistosomiasis Control in China 1950s-70s
3. 学会等名 The 3rd Conference of East Asian Environmental History (招待講演)
4. 発表年 2015年

〔図書〕 計7件

1. 著者名 内山雅生	4. 発行年 2018年
2. 出版社 御茶の水書房	5. 総ページ数 263
3. 書名 中国農村社会の歴史的展開	

1. 著者名 山本真	4. 発行年 2016年
2. 出版社 創土社	5. 総ページ数 461
3. 書名 近現代中国における社会と国家 福建省での革命、行政の制度化、戦時動員	

1. 著者名 阿古智子	4. 発行年 2016年
2. 出版社 東京大学出版会	5. 総ページ数 256
3. 書名 超大国中国の行方 第5巻 勃興する民	

1. 著者名 阿古智子	4. 発行年 2017年
2. 出版社 かもがわ出版	5. 総ページ数 36
3. 書名 中国の歴史・現在がわかる本 第1期3 21世紀の中国	

1. 著者名 首藤明和（桜井義秀等と共著）	4. 発行年 2017年
2. 出版社 北海道大学出版会	5. 総ページ数 453
3. 書名 現代中国の宗教変動とアジアのキリスト教	

1. 著者名 田中比呂志	4. 発行年 2015年
2. 出版社 山川出版社	5. 総ページ数 92
3. 書名 袁世凱	

1. 著者名 古泉達矢	4. 発行年 2016年
2. 出版社 東京大学出版会	5. 総ページ数 328
3. 書名 アヘンと香港 845-1943	

〔産業財産権〕

〔その他〕

-

6. 研究組織

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究分担者	祁 建民 (Ki Kenmin) (70448819)	長崎県立大学・国際社会学部・教授 (27301)	
研究分担者	田中 比呂志 (Tanaka Hiroshi) (90269572)	東京学芸大学・教育学部・教授 (12604)	
研究協力者	弁納 才一 (Bennou Saiichi)		
研究協力者	小島 泰雄 (Kojima Yasuo)		
研究協力者	山本 真 (Yamamoto Shin)		
研究協力者	首藤 明和 (Syudou Toshikazu)		
研究協力者	阿古 智子 (Ako Tomoko)		
研究協力者	吉田 建一郎 (Yoshida Tateichirou)		

6. 研究組織（つづき）

	氏名 (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究協力者	福士 由紀 (Fukushi Yuki)		
研究協力者	李 海燕 (Ri Kaien)		
研究協力者	古泉 達矢 (Koizumi Tatuya)		
研究協力者	菅野 智博 (Kanno Tomohiro)		
研究協力者	佐藤 淳平 (Satou Zyunpei)		
研究協力者	前野 清太郎 (Maeno Seitarou)		